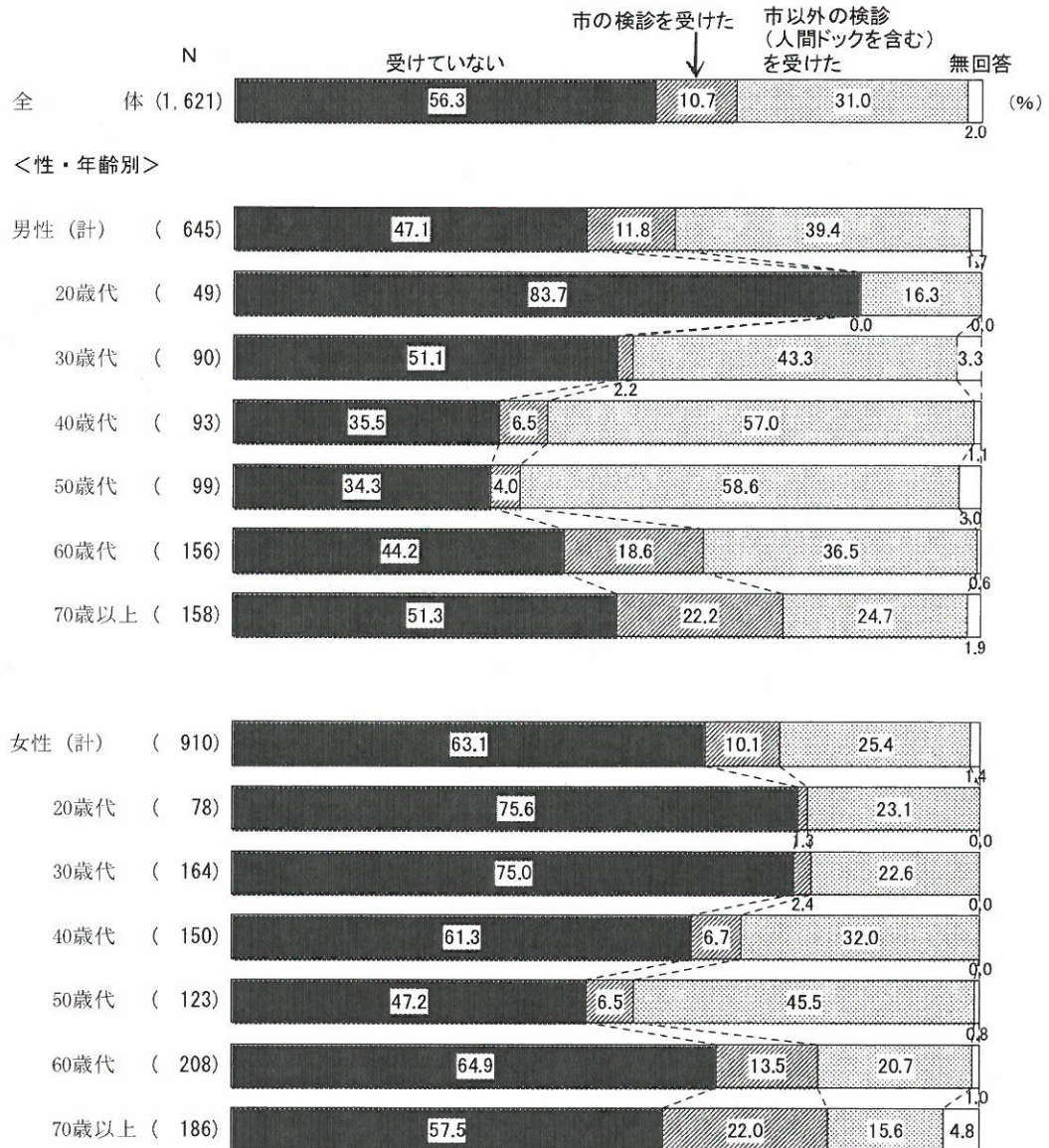


肺がん検診（胸部X線撮影）について性・年齢別にみると、「市の検診を受けた」と「市以外の検診（人間ドックを含む）を受けた」の2つを合わせた＜受診率＞は、男性では、40歳代と50歳代がともに60%を超えて多く、60歳代でも50%半ばとなっている。女性では、50歳代が50%を超えて多く、40歳代、70歳以上でも40%近くとなっている。（図4-8-4）

図4-8-4 性・年齢別 肺がん検診（胸部X線撮影）の受診状況

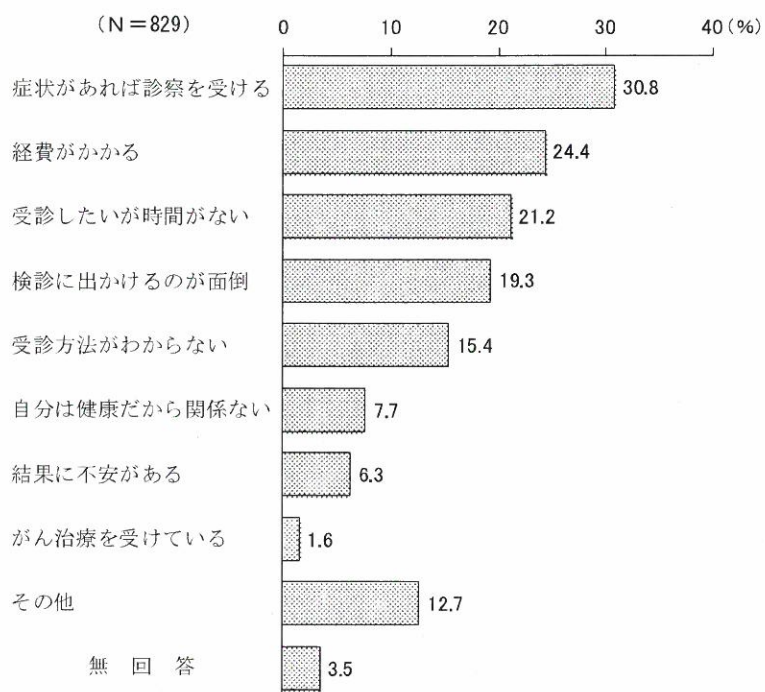


#### 4-9 がん検診を受診していない理由

◇「症状があれば診察を受ける」が30.8%

★問24①で胃がん検診・肺がん検診ともに「受けていない」と答えた方におたずねします。  
問24② がん検診を受診しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図4-9-1



問24①で胃がん検診・肺がん検診ともに「受けていない」と答えた人(829人)に、その理由をたずねたところ、「症状があれば診察を受ける」(30.8%)が最も多く、30%を超えている。以下、「経費がかかる」(24.4%)、「受診したいが時間がない」(21.2%)、「検診に出かけるのが面倒」(19.3%)、「受診方法がわからない」(15.4%)などの順となっている。(図4-9-1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「症状があれば診察を受ける」は男性70歳以上が60%半ばで特に多く、女性50歳代と60歳代でもともに40%を超えて多くなっている。「経費がかかる」は男性50歳代と女性20歳代がともに40%近くで多くなっている。「受診したいが時間がない」は男性30歳代と40歳代がともに40%を超えて多く、「受診方法がわからない」は女性20歳代と30歳代がともに30%を超えて多くなっている。(図4-9-2)

図4-9-2 性・年齢別 がん検診を受診していない理由

